

馬宮中生 学習方法アドバイス 社会科編

社会は、暗記中心のイメージが強いため、勉強方法に悩む生徒が多いのが現状です。ここに中学校の社会を勉強するためのアドバイスの一部を載せますので、参考にしてください。

1. 社会のワークを使った勉強

社会の勉強は、改めてノートの作成に時間を費やすよりもワークブックを活用しましょう。

社会のテストの勉強を「ノートの整理」から始めると、多くの時間を消費してしまい、知識の習得に充てる時間が不足します。もし十分な時間が取れない場合は、代わりに教科書に基づいたワークブックを利用しましょう。教科書に基づいたワークブックは、教科書の内容に忠実に従って要点をまとめたワークブックです。既に情報は整理されているので、知識の習得に充てる時間を確保できます。このため、ワークブックを何度も解いてみることをおすすめします。最初の試みでは解答を確認しながら問題を解いても構いません。2回目以降は自力で解答するようにし、誤答や理解できない部分があれば、何度でも挑戦しましょう。

2. 社会的事実の流れをつかむ

重要な図や歴史の流れを記憶するためには、図を描き、視覚的にとらえることが効果的です。関連性や時系列、地理的な関係などを理解しながら、名前や出来事の流れを記憶することが大切です。何度か模写を繰り返すと、図や写真の特徴がだいたい把握できるようになります。自信をもてるようになったら、プリントや教科書の図表や写真を見て、それが何を表しているのか、何に関連しているのかを考えてみましょう。

3. スキマ時間を使って理解をすすめる

暗記理解を深めるために、隙間時間を活用しましょう。ウォータールー大学の「忘却曲線」から得られる情報によれば、次のことが明らかです。

- ・1日目に学習した内容は、復習しないと急速に忘れてしまう
- ・翌日や1週間後に復習すると、記憶がかなり保たれる
- ・翌日に10分の復習で記憶を回復できる
- ・1週間後にも復習すると、わずか5分の復習で記憶が蘇る

したがって、テスト勉強や日常の学習で覚えた重要な情報は、翌日と1週間後に定期的に復習しましょう。このちょっとした手間をかけるだけで、記憶が格段に向上します。復習時間は、1時間の学習に対して10分未満で十分です。寝る前や食事の前などの短い隙間時間を上手に活用して、暗記を行いましょう。

4. 「社会」と日常生活での出来事や国際社会との共通点

社会的な見方・考え方を身に着けるためには、日常で起こった出来事や国際社会で起こった出来事と授業で習ったこととをつなげ、一つの出来事に対して多面的・多角的に理解することが必要です。

社会で起こった出来事を多面的・多角的に理解するために、まず、「情報を知っている」ことが大切です。そして、その「情報」の質を高めていくなかで、取舍選択をする必要があります。情報の収集源の一つにSNSがあります。しかし、SNSの情報をそのまま鵜呑みにするのではなく、様々な媒体から情報を得ることで、一つの情報を多面的・多角的に見ることができます。

また、生活をしているうえでの「なぜ？」を深めてほしいです。「なぜ？」を深めることで、今後の「社会」を生き抜く力を高めていきましょう。

以上、馬宮中生に向けてアドバイスをしました。このアドバイスを自分のために役立ててほしいです。